

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調査

| | | | |
|-----------|---|-----------|--------------|
| (1) 取組名 | 伝説が見える・伝わる観光まちづくりー 三好市東祖谷(ひがしいや)の平家落人伝説と伝統文化・萱葺き集落など多様な資源を、住民と来訪者がともに磨き高め合う 新しい歴史観光まちづくり事業 | | |
| (2) 実施団体名 | 三好市東祖谷平家落人伝説歴史観光まちづくり実行委員会 | (3) 対象地域 | 徳島県三好市 東祖谷地区 |
| (4) 代表団体名 | 株式会社 庵 | (5) 推薦団体名 | 徳島県三好市 |

| | | | |
|------------------|--|--|---|
| (6)実施した取組の内容 | 取組① | 体験プログラム企画を通して平家伝承を復活 | |
| | 実施主体 | 落合重要伝統的建造物群保存会、活彩祖谷村、コミュニティ祖谷、NPO法人ちいおりトラスト、(株)庵、(有)リンク・コミュニティデザイン研究所 | |
| | 実施内容、実施結果 | 当初提案により予定していた計画 | |
| | | 実際の取組内容及びその結果 | |
| | | <p>【概要】祖谷の暮らしに根付く文化に触れ、本物志向の滞在観光客に向けた体験プログラムの開発・実験を実施。</p> <p>【内容①】平家落人伝説はじめ、歴史・文化資源、自然・産業資源とそれらの伝え手となる人材を地域から探し出し、プログラム開発を実験、ネットワーク化。</p> <p>【内容②】有識者による体験ツアー実験を開催、適切な助言を得て、満足度の向上を図るための新たな開発・実験を準備。</p> | <p>【内容①】地域諸団体(実行委員会構成員)にヒアリングを実施。既存または構想中のプログラムに「大人が満足できる」工夫を加え、9案を企画、うち7案を実験ツアーにおいて合同実施。</p> <p>【内容②】実験ツアーに有識者5名を招聘。実行委員会、有識者、一般参加者がワークショップで意見交換。</p> <p>◆実施時期:20年11月8日、9日◆実施場所:「ちいおり」(アレックス・カーの築300年超、萱葺き古民家)◆参加者:66名◆開催プログラム:「平家落人伝説ツアー」「古式そば打ち」など7本</p> <p>【成果】①平家落人伝説はじめ未活用の多様な地域資源が、本物を求める大人へのもてなし(対価を得るサービス)となる可能性を確認。②実施団体間に、ツアー実践を通して交流と実行委員会としての連携が生まれ、「地域ぐるみのもてなし」という目標共有。観光まちづくりへの意識醸成に寄与。③従来型教育旅行からステップアップ、東祖谷の文化を継承、経済波及効果をもたらす「大人が満足できるプログラム」への課題意識を委員が共有。④実験ツアー参加の有識者・モニターが、本事業が目指す「ともに高め合う良質なパートナー」となり、今後の祖谷ファン形成に手応え。</p> |
| | 取組② | 山村の特色ある食を味わう地産地消古民家レストランの企画 | |
| | 実施主体 | 落合重要伝統的建造物群保存会、活彩祖谷村、コミュニティ祖谷、(株)庵、(有)リンク・コミュニティデザイン研究所、三好市、いってみる会 | |
| | 実施内容、実施結果 | 当初提案により予定していた計画 | |
| | | 実際の取組内容及びその結果 | |
| | | <p>【概要】山岳農産品『ごうしも(独特のじゃがいも)』等山村集落特有の豊かな食を満喫できる地産地消古民家レストランの可能性を調査。</p> <p>【内容①】祖谷及び三好市の食材調査及び地産地消メニュー開発実験を有力シェフを招聘実施。</p> <p>【内容②】食材の生産・供給体制調査を併せて実施、当プロジェクトへの供給の可能性を検討。</p> <p>【内容③】失われつつある郷土料理をカシェフとともに発掘。おかみさんグループを提供主体として育成。シェフの知恵で、魅力的なランチメニュー開発。</p> | <p>【内容①】コンラッド東京齋藤総括料理長を招聘、夏・秋の食材調査及びメニュー開発実験を実施。実行委員会及び地域関係者が試食会に参加、課題を共有。冬も実施予定。◆実施時期:夏8/26～28、秋10/27～29、冬2/5～7◆試食会場:観光案内所◆同参加者:夏27名、秋29名◆食材発掘:夏10種、秋18種◆メニュー開発:夏11種、秋11種</p> <p>【内容②】東祖谷の山岳農産品、祖谷特産品加工場及び三好市内のこだわり生産者、直売所を調査。</p> <p>【内容③】地元団体が郷土料理数種を再現。冬の食材調査にて、同シェフがアドバイス予定。</p> <p>【成果】①東祖谷特有の山岳景観を眺める食事、石だらけの山を永年かけ農地に変えた歴史、独特の農産品、これらの高い魅力を再認識。魅力を活用した地産地消古民家レストラン企画を進める意義を共有。②山岳景観と素材な食材で内外の高レベル顧客を満足させるメニューの開発可能性を確認。③地元食材にこだわった料理の価値を再確認、地域団体(実行委員)が主体的に常時提供可能体制を構築開始。④地域団体が地元食材で行業弁当の提供開始。</p> |
| | 取組③ | 空き古民家の利活用計画の策定と茅葺屋根葺替人材育成 | |
| | 実施主体 | 三好市、NPO法人ちいおりトラスト、落合重要伝統的建造物群保存会、活彩祖谷村、コミュニティ祖谷、(株)JR四国アーキテクト、(株)庵 | |
| 実施内容、実施結果 | 当初提案により予定していた計画 | | |
| | 実際の取組内容及びその結果 | | |
| | <p>【概要】空き古民家調査及び利活用計画を策定。トタンで覆われた萱葺民家を再現するため、萱場確保と萱刈り、萱葺人材の育成及び体制作りを実施。</p> <p>【内容①】落合・大枝・釣井を中心に空き古民家状況調査、実地測量、図面作成、改修企画を実施。</p> <p>【内容②】改修予定民家を祖谷暮らし体験宿泊施設、レストラン等機能分化、全体計画を策定。</p> <p>【内容③】「喜多家」「ちいおり」を題材として、萱葺きワークショップを実施、萱葺き人材を育成開始。</p> <p>【内容④】萱場整備と萱刈ワークショップ実施。情報発信、ボランティアを募集、PRイベントに活用。</p> | <p>【内容①】重伝建地区落合集落で10棟の空民家の調査、測量、図面化完成。4棟の改修計画案を策定中。</p> <p>【内容②】機能別に改修民家をネットワーク、まちなみ整備を含めた総合計画策定に貢献予定。</p> <p>【内容③】「喜多家」「ちいおり」を題材に、専門職人が指導、実行委員会を中心に地域住民が茅葺屋根修復作業を実施、萱葺き技術の習得開始。◆実施時期:11/17～12/3◆実施場所:東祖谷大枝「喜多家」、釣井「ちいおり」◆参加者:のべ109名</p> <p>【内容④】萱葺き材料の萱の調達と萱場の整備を目的に、実行委員会が講師を務め、萱刈取作業及び保管を参加者が修得。◆実施時期:12/8～15◆実施場所:京柱峠、落合集落◆参加者:のべ39名</p> <p>【成果】①空家調査にて、早期に改修すれば、100年活用可能だが、この機会を逃すと、数年で朽果てる、自然崩壊する恐れも判明。集落継承のため経済波及効果のある「活用」が重要との意識醸成。②萱葺き技術伝承のため、集落を越えて新団体「結いまるる」を実行委員等が組織化、主体的な活動開始。③参加者から、萱葺き技術を継続学習実践したいとの要望が上がり、次の具体的な活動目標(落合集落の葺替への協力)決定。</p> | |
| 取組④ | 事業運営計画の策定と交通アクセス実験 | | |
| 実施主体 | 三好市、NPO法人ちいおりトラスト、(株)JR四国アーキテクト、(株)庵、(有)リンク・コミュニティデザイン研究所 | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|--|--|--|-----|-----------------|--|-----------------|-----|--|-----------------------|--|--|---|--|--|--|--|--------------|----------------------------------|--|--|-----|-----------------|--|-------|-----|--|-----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------------|--|--|--|-----|-----------------|--|-------------------------|------|--|-----------------------|--|--|---|--|--|---|--|
| | <p>当初提案により予定していた計画</p> <p>【概要】取組①～③の成果を基に、運営会社事業計画の策定、交通アクセス実証実験実施。</p> <p>【内容①】運営会社事業計画の策定、設立に向けた人材の発掘、育成、体制づくりが課題。</p> <p>【内容②】地域内外交通アクセス実証実験予定。</p> <p>【内容③】当事業の目的と成果を地域に広め、取組の一層の強化を目指しフォーラム開催予定。</p> | <p>実際の取組内容及びその結果</p> <p>【内容①】取組①～③をもとに、「平家伝説+食+古民家滞在」をサービスの核として提供する運営会社の事業計画(他地域へのモデルとして貢献を期待)を策定中。人材の発掘、育成、体制づくりが進行中。</p> <p>【内容②】東祖谷までの公共交通機関、域内の移動に関する交通アクセス調査中。</p> <p>【内容③】地域住民を対象にしたフォーラム開催、当事業の目標、取組と成果を伝播、今後の長期にわたる観光まちづくりへの理解と協力を求める。◆実施予定:2/21◆実施場所:東祖谷総合支所◆参加者:80名程度</p> <p>【成果】持続的な運営体制構築に向け、課題を整理、取組の指針を共有。フォーラムでは、実行委員会が力を結集、気運の醸成を成果として披露。地域住民の協力を獲得。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(7)実施体制</p> | <p>平成20年度の取組実施における体制・役割分担</p> <p>「三好市東祖谷平家落人伝説歴史観光まちづくり実行委員会」下記10団体で構成され、以下の役割を分担</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>人材発掘・体制づくり</p> <p>◆ちいおりトラスト ◆いってみる会 ◆JR四国アーキテクト ※人材・地域資源の発掘、ネットワーク化、体制づくり</p> <p>地域情報の提供</p> <p>◆落合保存会 ◆活彩祖谷村 ◆コミュニティ祖谷 ◆そらの郷山里物語協議会</p> </td> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>事業計画・調整・推進サポート</p> <p>◆三好市【元気事業事務局】 担当:取組①②③ ※関係者・関連事業の調整、事業全般推進サポート</p> <p>◆庵 担当:取組①②③④ ※事業全般企画・推進サポート、事業計画策定</p> <p>◆リンク 担当:取組①④ ※体験プログラム企画・推進サポート、事業計画サポート</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓ ↓</p> <p>各取組の推進</p> <p style="text-align: center;">↓ ↓</p> <p style="text-align: center;">実行委員会構成団体による (地元団体間に交流はなく、具体的な分担は未定であった)</p> | <p>人材発掘・体制づくり</p> <p>◆ちいおりトラスト ◆いってみる会 ◆JR四国アーキテクト ※人材・地域資源の発掘、ネットワーク化、体制づくり</p> <p>地域情報の提供</p> <p>◆落合保存会 ◆活彩祖谷村 ◆コミュニティ祖谷 ◆そらの郷山里物語協議会</p> | <p>事業計画・調整・推進サポート</p> <p>◆三好市【元気事業事務局】 担当:取組①②③ ※関係者・関連事業の調整、事業全般推進サポート</p> <p>◆庵 担当:取組①②③④ ※事業全般企画・推進サポート、事業計画策定</p> <p>◆リンク 担当:取組①④ ※体験プログラム企画・推進サポート、事業計画サポート</p> | <p>取組の実施を踏まえた反省点</p> <p>◎事業実践から始まった交流と連携⇒当事業以前、実行委員会構成員各活動団体はそれぞれの集落を出て活動することはなく、連携はなかった(集落間の隔たりは車で15～40分)。実践を通し、団体間の交流と連携がスタート。</p> <p>◎まちづくり意識の高まり⇒過疎化により急速に失われていく東祖谷独特の生活文化・景観を次代に継承するため、滞在体験型観光まちづくりに地域総体が取組み、経済・雇用創出による活性化が必要との目標意識を共有。実行委員各団体がまちづくりの主体であるとの意識が高まってきた。</p> <p>●取組①実験ツアーでは実行委員「コミュニティ」「保存会」「活彩」「ちいおり」が、歴史・食・文化等、得意分野を活かした体験プログラムを運営。地域団体相互、有識者とのネットワークを構築。今回「リンク」が担った事務局機能を、1ターンの若者が活躍する「ちいおり」へ移行することが課題。</p> <p>●取組②食材調査では実行委員「三好市」「コミュニティ」「保存会」「活彩」「いってみる会」が祖谷独特の食材提供、山岳農家紹介。「庵」が招聘した有力シェフがメニュー開発。次は、自家用の高品質な農産物の供給体制づくりが課題。</p> <p>●取組③当事業以前、実行委員「保存会」「活彩」「ちいおり」等が個別・断続的に萱刈実行、保管状態の不良など実用のレベルに至らず。事業実施を契機に「活彩」「保存会」「ちいおり」を中心に『結いまるる』組織化、集落の垣根を越え、地域全体の萱屋根再生に向けた実践の主体的活動が始まるという大きな成果を獲得。市の空家調査と「保存会」の落合住民調整の成果として、「JR四国アーキテクト」と「庵」が落合集落の空き民家調査を実施。教育委員会の指導の下、活用計画案を作成中。保存から活用へ、地域に意識が顕在化。</p> <p>●取組④「観光まちづくり」を適時適切にサポートするため、三好市は副市長をトップに横断的プロジェクトチームを結成、総合的な支援を期待。市の要請により、京都で町家再生・町家ステイ+文化体験事業を営み、市町村の観光まちづくりコンサル事業を営む「庵」が事業全体の事務局を担当。将来の自律実践的なビジネス展開を目指す事業計画を、「JR四国アーキテクト」「リンク」とともに、策定中。「ちいおりトラスト」を核に地元の運営組織育成を目指す。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>人材発掘・体制づくり</p> <p>◆ちいおりトラスト ◆いってみる会 ◆JR四国アーキテクト ※人材・地域資源の発掘、ネットワーク化、体制づくり</p> <p>地域情報の提供</p> <p>◆落合保存会 ◆活彩祖谷村 ◆コミュニティ祖谷 ◆そらの郷山里物語協議会</p> | <p>事業計画・調整・推進サポート</p> <p>◆三好市【元気事業事務局】 担当:取組①②③ ※関係者・関連事業の調整、事業全般推進サポート</p> <p>◆庵 担当:取組①②③④ ※事業全般企画・推進サポート、事業計画策定</p> <p>◆リンク 担当:取組①④ ※体験プログラム企画・推進サポート、事業計画サポート</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(8)取組により得られた成果</p> | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">○成果1→</td> <td style="width:40%;">祖谷独特の、平家落人にゆかりの地域資源を掘り起こし、活用可能なものとする。</td> <td style="width:30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">H19</td> <td style="text-align: center;">H20(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">体験プログラム案への反映 0件</td> <td style="text-align: center;">15件</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">H20(実際に得られた成果)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">◎「平家落人伝説ツアー」ほか、実験ツアーで7件の体験プログラム案を実施、この成果を基に、体験プログラム案、目標15件達成見込み(調書提出日1月20日以降も作業続行)。</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">◎過去交流のなかった地元団体間の連携と交流が開始、地域ぐるみでの体験プログラムのもてなし(サービス)向上への目的意識を共有。</td> </tr> <tr> <td>○成果2→</td> <td>地産地消の古民家レストランにふさわしい食材を再現および発見する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">H19</td> <td style="text-align: center;">H20(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">食材 0種</td> <td style="text-align: center;">30種</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">H20(実際に得られた成果)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">◎夏・秋に、調査及び調理実験を実施、地元の特徴的な食材28種(※)を活用、有効な調理法・出回り時期など特性を整理。(※冬の調査で目標の30種を超える見込み)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">◎コンラッド東京齋藤総括料理長による、メニュー開発実験22種(※冬の調査で30種を超える見込み)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">◎こだわりのある生産者調査5件、その背景にある独特の農法、山岳農地の美しい景観・暮らしなど、祖谷ならではの食のサービスの核となる地域資源を確認。</td> </tr> <tr> <td>○成果3→</td> <td>人口が減少し高齢化の進む山村のマンパワーを補い、ともに集落機能の維持・技術の継承に寄与してくれる「良質な交流人口」の拡大を図る。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">H19</td> <td style="text-align: center;">H20(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">萱刈り・萱葺きボランティア参加数 延べ 80人</td> <td style="text-align: center;">300人</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">H20(実際に得られた成果)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">◎萱屋根修復、萱刈・萱場整備ワークショップに、のべ148名が参加。(例年より早い降雪と悪天候、受入体制整備途上のため、当初目標には到達せず。)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">◎実行委員会構成員を中心に、萱葺屋根伝承のための新団体『結いまるる』を結成。主体的な活動を開始。集落間の垣根を越え、力を貸合い学び合う「結い」の精神に則った活動を積極的に展開。今後は「良質な交流人口」の協力を得、集落機能の維持・技術の継承に大きく寄与する存在として期待。</td> </tr> </table> | | ○成果1→ | 祖谷独特の、平家落人にゆかりの地域資源を掘り起こし、活用可能なものとする。 | | | H19 | H20(当初予定していた目標) | | 体験プログラム案への反映 0件 | 15件 | | H20(実際に得られた成果) | | | ◎「平家落人伝説ツアー」ほか、実験ツアーで7件の体験プログラム案を実施、この成果を基に、体験プログラム案、目標15件達成見込み(調書提出日1月20日以降も作業続行)。 | | | ◎過去交流のなかった地元団体間の連携と交流が開始、地域ぐるみでの体験プログラムのもてなし(サービス)向上への目的意識を共有。 | | ○成果2→ | 地産地消の古民家レストランにふさわしい食材を再現および発見する。 | | | H19 | H20(当初予定していた目標) | | 食材 0種 | 30種 | | H20(実際に得られた成果) | | | ◎夏・秋に、調査及び調理実験を実施、地元の特徴的な食材28種(※)を活用、有効な調理法・出回り時期など特性を整理。(※冬の調査で目標の30種を超える見込み) | | | ◎コンラッド東京齋藤総括料理長による、メニュー開発実験22種(※冬の調査で30種を超える見込み) | | | ◎こだわりのある生産者調査5件、その背景にある独特の農法、山岳農地の美しい景観・暮らしなど、祖谷ならではの食のサービスの核となる地域資源を確認。 | | ○成果3→ | 人口が減少し高齢化の進む山村のマンパワーを補い、ともに集落機能の維持・技術の継承に寄与してくれる「良質な交流人口」の拡大を図る。 | | | H19 | H20(当初予定していた目標) | | 萱刈り・萱葺きボランティア参加数 延べ 80人 | 300人 | | H20(実際に得られた成果) | | | ◎萱屋根修復、萱刈・萱場整備ワークショップに、のべ148名が参加。(例年より早い降雪と悪天候、受入体制整備途上のため、当初目標には到達せず。) | | | ◎実行委員会構成員を中心に、萱葺屋根伝承のための新団体『結いまるる』を結成。主体的な活動を開始。集落間の垣根を越え、力を貸合い学び合う「結い」の精神に則った活動を積極的に展開。今後は「良質な交流人口」の協力を得、集落機能の維持・技術の継承に大きく寄与する存在として期待。 | |
| ○成果1→ | 祖谷独特の、平家落人にゆかりの地域資源を掘り起こし、活用可能なものとする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H19 | H20(当初予定していた目標) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 体験プログラム案への反映 0件 | 15件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H20(実際に得られた成果) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ◎「平家落人伝説ツアー」ほか、実験ツアーで7件の体験プログラム案を実施、この成果を基に、体験プログラム案、目標15件達成見込み(調書提出日1月20日以降も作業続行)。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ◎過去交流のなかった地元団体間の連携と交流が開始、地域ぐるみでの体験プログラムのもてなし(サービス)向上への目的意識を共有。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○成果2→ | 地産地消の古民家レストランにふさわしい食材を再現および発見する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H19 | H20(当初予定していた目標) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 食材 0種 | 30種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H20(実際に得られた成果) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ◎夏・秋に、調査及び調理実験を実施、地元の特徴的な食材28種(※)を活用、有効な調理法・出回り時期など特性を整理。(※冬の調査で目標の30種を超える見込み) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ◎コンラッド東京齋藤総括料理長による、メニュー開発実験22種(※冬の調査で30種を超える見込み) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ◎こだわりのある生産者調査5件、その背景にある独特の農法、山岳農地の美しい景観・暮らしなど、祖谷ならではの食のサービスの核となる地域資源を確認。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○成果3→ | 人口が減少し高齢化の進む山村のマンパワーを補い、ともに集落機能の維持・技術の継承に寄与してくれる「良質な交流人口」の拡大を図る。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H19 | H20(当初予定していた目標) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 萱刈り・萱葺きボランティア参加数 延べ 80人 | 300人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H20(実際に得られた成果) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ◎萱屋根修復、萱刈・萱場整備ワークショップに、のべ148名が参加。(例年より早い降雪と悪天候、受入体制整備途上のため、当初目標には到達せず。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ◎実行委員会構成員を中心に、萱葺屋根伝承のための新団体『結いまるる』を結成。主体的な活動を開始。集落間の垣根を越え、力を貸合い学び合う「結い」の精神に則った活動を積極的に展開。今後は「良質な交流人口」の協力を得、集落機能の維持・技術の継承に大きく寄与する存在として期待。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|----------------------------|--|---|
| | ○成果4→ 観光まちづくりの滞在拠点としての活用を前提とした、萱葺き古民家の現状を把握、地域内での協力体制を整える。 | |
| | H19 | H20(当初予定していた目標) |
| | 空き古民家調査と再生活用家案作成 0件 | 10件 |
| | H20(実際に得られた成果) | |
| | ◎落合集落(重要伝統的建造物群保存地区)にて、実行委員会構成員である市役所及び保存会の尽力により、空き家調査を目標10件実施。うち4件の活用案を作成中。 | |
| (9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点 | <p>●スタートした滞在体験型観光まちづくり、課題は地元の運営体制づくり⇒当事業開始前、実行委員会構成員各活動団体はそれぞれの集落を出て活動することではなく、連携はなかった(集落間の隔たりは車で15～40分)。また、過疎化で失われてゆく伝承・地域文化・景観に危機感を感じつつも、取り組むべきまちづくりの共通認識はなかった。将来に渡る「観光まちづくり」に向け、関係者が目標を共有、協力関係を築く「基盤整備」が本年度の大きな課題、これを達成。各事業の実施により、自発的な活動と連携が生まれ、まちづくりの担い手としての主体者意識の高揚など、地域実行委員が着実に成長。今後は地域住民全体にこれを広げ、理解と協力を得、地域に観光まちづくりの運営を担う組織(運営会社)を設立、育成が課題。</p> <p>●過疎高齢化により急速に消えゆく地域資源と人材⇒継承と対価を得る事業化が課題。集落維持のための萱刈・萱葺技術、山岳農地の循環型農業・景観維持、体験プログラム資源である平家落人伝承と暮らしの技術など、地域の70代以上が普通に持つ生活文化は、次の60代には一部しか継承されていないことが事業を通して判明。事業参加者・関係者への調査から、この70代の生活文化に高い潜在価値を確認。空き古民家調査の結果、多くの空家が、早急な修繕を必要、近く朽ち果てる現状が判明。次代へ継承体制づくりは急務。次年度以降、これらの一層の発掘と継承・人材育成及び「本物を求める大人」に向けた「商品化・事業化」の推進を痛感。</p> <p>●「東祖谷」特性を極めた歴史観光まちづくりの確立⇒21年度は当初三好市他地域への拡大を予定したが、引き続き東祖谷に集中。理由は、山岳集落のため、地域内アクセスに大きな課題を発見。祖谷の山岳集落特性を極めた「平家伝説+食+萱葺古民家滞在」を軸とした複合型のサービスを、各集落に機能・役割分担して提供することを構想していたが、集落から集落への地域内移動が厳しく、顧客にとっても運営サイドにとっても快適な仕組み作りを目指すために一層の調査・検討が必要となったため。次年度は、東祖谷に集中し、各集落の特性を見極め、地域ぐるみで提供する「新しいスタイルの歴史観光まちづくり」の確立に注力。この確立により、三好市の他地域は勿論、全国の美しい日本に展開するためのモデル事業として貢献が可能。</p> | |
| (10)平成21年度以降の活動の見込み | <p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <p>①平家落人伝説・伝統文化・風習等を新たな観光資源として伝承するための調査と人材育成を継続。(H21年度) 各種体験プログラムのモニターツアーとPR活動を推進。(H21年度)</p> <p>②古民家レストランの開業に向けたメニュー開発および人材育成などソフト整備を推進(H21年度) 併せて春、初夏の食材調査を行う。(H21年度)</p> <p>③萱挽き屋根の再生のための、萱場の調査・萱の育成と普及振興、人材育成を行う。(H21年度)</p> <p>④「歴史まちづくり計画」により空き古民家の具体的な整備計画を策定。22年度末の開業を目指し、改修の実施設計を進め、施設整備を推進。(H21～22年度)</p> <p>⑤「東祖谷観光まちづくり株式会社(仮称)※」を設立、運営開始(H21年度) ※母体は当実行委員会の構成団体</p> <p>⑥伝健地区に係る文化庁の補助事業により落合集落のトタンに覆われた古民家を萱屋根へと順次再生。(H21～毎年1棟ずつを目標)</p> | <p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>①平家落人伝説・伝統文化・風習等、新たな観光資源の調査と人材育成を継続。各種体験プログラムのモニターツアーとPR活動を推進(H21年度)◎さらなる伝承の掘起し、資源マップ・ガイドブック作成、ガイド育成ワークショップなど。◎プログラムの商品企画、ファンづくり、旅行者者ネットワーク構築、WEB作成など《実施主体》庵・リンク、各プログラムは実行委員会構成員の地元団体、事務局は「リンク」から⑤の組織へと移行、「リンク」が支援。 【希望する制度：地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額1,000万円)】</p> <p>②古民家レストランの開業に向けたメニュー開発および人材育成などソフト整備を推進、併せて春、初夏の食材調査を行う。(H21年度)◎春・初夏の食材調査とメニュー開発実験。◎開業に向けたメニュー実践開発及び人材育成などソフト整備。◎郷土料理をブラッシュアップしたランチメニュー開発及び地元団体の料理提供体制づくり《実施主体》庵・リンク・コミュニティ 【希望する制度：地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額700万円)】</p> <p>③萱挽き屋根の再生のための、萱場の調査・萱の育成と普及振興、人材育成を行う。(H21年度)◎専門家講師招聘、萱葺替工事を題材に人材育成。◎萱場再生を通じ萱刈人材育成。◎石垣再生人材育成。《実施主体》結まある・庵【希望する制度：地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額600万円)】</p> <p>④「歴史まちづくり計画」により空き古民家の具体的な整備計画を策定。22年度末の開業を目指し、改修の実施設計を進め、施設整備を推進。(H21～22年度)◎「歴史まちづくり計画」等国の助成事業により空き古民家の具体的な整備計画を策定、22年度末開業を目指し、改修の実施設計を進め、施設整備を推進。《実施主体》三好市・保存会・JR四国アーキテック・庵【希望する制度：国土交通省「歴史的環境形成総合支援事業」「空家活用事業」「地域住宅交付金事業」、農林水産省「農山漁村活性化プロジェクト事業」等】</p> <p>⑤「東祖谷観光まちづくり株式会社(仮称)」を設立、運営開始(H21年度)◎当実行委員会が「東祖谷観光まちづくり株式会社準備事務局(仮称)」を設立、運営開始。《実施主体》実行委員会 【希望する制度：経済産業省「各種創業支援事業」、「地域資源活用事業計画認定事業助成金事業」】</p> <p>⑥伝健地区に係る文化庁の補助事業により落合集落のトタンに覆われた古民家を萱屋根へと順次再生。(H21～毎年1棟ずつを目標)《実施主体》三好市・保存会・地権者 【希望する制度：文化庁「重要伝統的建造物群保存地区保存事業」】</p> |

◆主な実施取組の内容◆

取組①体験プログラムを通して平家伝承を復活

【実施主体】庵・リンク・チイオリ・保存会・コミュニティ・活彩
【実施内容・結果】

- 平家落人伝説はじめ山岳集落の暮らしに根付く文化など多様な資源の調査、発掘を実施。これを基に体験プログラムを企画・実験。
- 実行委員会構成団体が初連携、実験ツアーを開催。
- 有識者・モニター・実行委員会がワークショップにより、意見交換、課題共有。課題解決に向け、活動中。

■11/8・9

実験ツアーを開催

- ◆プログラム7種を実施
- ◆参加66名
- ◆地域のお年寄りが講師
- ◆Iターン若者が運営サポート
- ◆築300年超の茅葺古民家「ちいおり」が会場



▲「ちいおり」の縁側で
かざら籠あみ体験



▲平家ゆかりの史跡を巡る



▲ワークショップで意見交換

取組②山村の特色ある食を味わう古民家レストランの企画

【実施主体】市・庵・リンク・コミュニティ・活彩・保存会・
いってみる会

- 【実施内容・結果】●山岳農地特産品、野草、三好市内こだわり生産者の食材と郷土料理を調査。コンラッド東京総括料理長がメニュー開発実験。素朴かつ高水準な料理と会食環境(山岳集落景観)に滞在体験型観光の可能性を確認。
- 山岳傾斜農地、伝統的・循環型農法の魅力・後継者難、人材育成と観光兼業農家育成の必要性を確認。

■夏・秋・冬(予定)

- 食材調査・メニュー開発
- ◆斉藤シェフと生産現場を調査
- ◆実行委員会が集めた地元食材でメニュー開発(22種)
- ◆試食会開催(参加のべ56名)



▲美しい山岳農地で作る「ごうしも」



▲試験的にメニューを開発



▲ピクニックランチの楽しさを実感

取組③空き古民家の利活用計画の策定と茅葺き屋根葺き替え人材育成

【実施主体】保存会・活彩・チイオリ・庵・JR四国アーキテクト・市
【実施内容・結果】●伝建地区落合で10棟の空古民家調査、うち4棟の活用計画案策定。

- 萱葺ワークショップによる人材育成実施:「喜多家」「ちいおり」を題材に専門職人が指導。地域住民参加。茅葺屋根伝承組織「結いまるる」結成。
- 萱刈ワークショップ:萱場調査、実行委員が講師、萱刈と萱保管方法、萱場整備、実践人材育成。(集落の垣根を越えて住民が初参加。)

■11/17~12/15

萱葺WS・萱刈WS開催

- ◆萱葺:参加109名
- ◆来年以降に備え、刈った萱を適切に保存
- ◆萱刈:萱束60締め・参加39名



▲職人の指導のもと地元の住民が萱葺き



▲萱場で萱刈り技術を学ぶ



▲古民家調査

◆取組実施による成果・今後の展開◆

◆平家落人伝説が残る独特の山岳集落東祖谷は、過疎高齢化により存亡の危機。この地の魅力溢れる地域資源『山岳集落』『茅葺古民家』『山岳農業』その『暮らし』に根付く『歴史』『文化』『伝統』の継承が目的。その手段として、これらを生かす『滞在体験型観光まちづくり』により『雇用創出』『人材育成』を企図。一過性のイベントではなく、5年後、10年後、20年後を見据えた企画・調査・実験を実施。来年度以降は、古民家改修などハード整備、一層の企画・実験・人材育成を加え、国内外のマーケットにマッチした受入体制を構築。経済波及効果の高いこの取組の成果は、日本中の美しい日本の暮らしと文化の継承の先進的な『モデル事業』。

◆ゼロからスタートした滞在体験型観光まちづくり➡本事業の実施で実行委員が「滞在体験型観光まちづくり」の目標を共有・協力関係を築く「基盤整備」が、本年度の大きな課題これを達成。加えて上記取組による多くの具体的な成果を得た。今後の課題は、観光まちづくりの運営を担う組織(運営会社)の設立・人材育成が課題。課題に向けて活動中。